

情報を「伝える」から「伝わる」へ

デジタルサイネージソリューション

情報共有のデジタル化を始めませんか？

情報がうまく伝達されないことによる様々な課題を解決するため、情報を「可視化」することで「伝える」から「伝わる」情報へ展開し、行動変化を促進させることを目的としたコミュニケーションデザインを用いて、ヒトとヒトを繋げるデジタルサイネージソリューション” KIMONAVI™” を展開しております。KIMOTOでは「伝わる」情報発信へ向けて課題抽出から問題解決、運用までトータルしてご支援いたします。

■ デジタルサイネージ 活用シーン

デジタルサイネージは、ディスプレイなどの電子機器にて情報を発信する媒体です。最近では公共施設の案内パネル、大型ショッピングモールの店舗案内パネル、エレベーターの小型ディスプレイ等様々な場面で活用されています。

様々な活用シーン

事務所 会社案内、社内情報、取扱商品、求人情報、協力会社紹介 など

店舗 店舗情報、商品紹介、特価情報 など

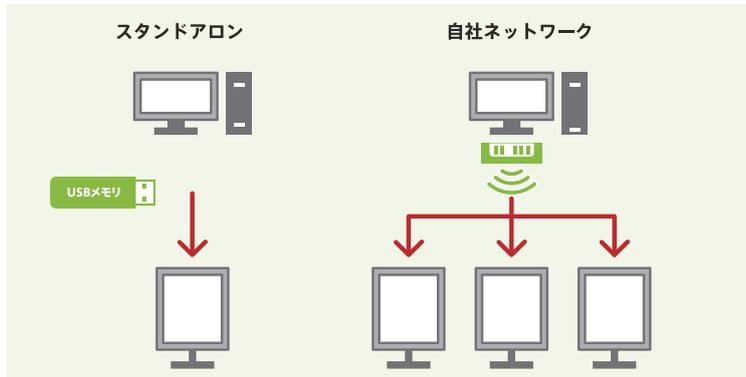
その他 住宅展示場、製造業、公共施設、飲食店、学校 など



■ 運用パターンに応じたタイプ別サイネージの特長

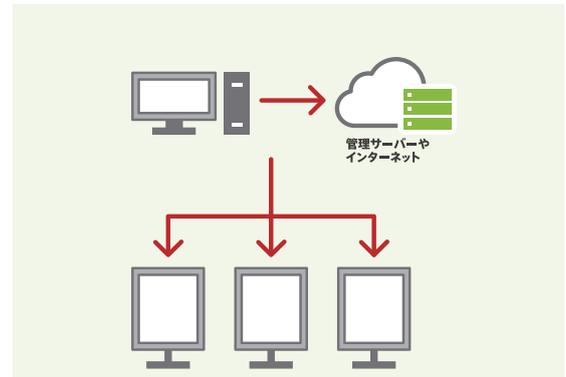
デジタルサイネージの機器をネットワーク通信のできる環境でコンテンツサーバーへアップロードし、ディスプレイに表示させます。USBメモリーやネットワーク上にある専用サーバーを利用する「オンプレミス接続」とクラウド環境を利用する「クラウド接続」があり、お客様のお好みに合わせて選択できます。

オンプレミス



USBメモリーで放映。または、ネットワーク上にある専用の配信PCからコンテンツを複数同時配信。

クラウド



一斉配信がどこからでも、操作が可能

■ トータルソリューションのご提案（取扱品目）

■ ハードメーカー各社

Signage Display



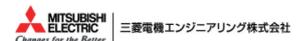
Video Device



Display Stand



Touch Display



■ ソフト開発

データキッチン事業部において、お客様の要望に合わせてあらゆるデータをお好み通りに調理いたします。デジタルサイネージ用のアプリケーションも弊社技術スタッフにより開発可能です。

■ デジタルサイネージ

相談から導入までの流れ

